

和地ひとみレポート No.148

平成27年第1回市議会定例会がスタート 初日に市長が平成27年度市長施政方針を表明

■重要施策は7つ

…2月24日より、平成27年第1回市議会定例会がスタートしました。毎年、第1回定例会では、4月から始まる新年度についての市長施政方針が表明されます。今年も例年同様に、壇上にて市長が来年度の施政方針表明を行いました。その内容は市政を取り巻く経済状況等をどのように捉えているかから始まり、来年度の重要施策7点に続き、「第四次基本計画」の施策の体系にのっとり取り組む主な施策、来年度の予算編成のポイントが述べられ、最後に来年度の市政運営への取り組み姿勢や思いが表明されました。来年度の重要施策7点の主なポイントは以下の通りです。

【H27年度重要施策】

(重要施策1)子育て支援施策の充実

- 保育園の新園舎開設や分園の設置及び増築で定員を拡大し保育園の待機児童対策を実施。
- 人材派遣に要する費用の一部を補助する制度を構築し保育士不足を解消。
- 延長保育実施の保育園を13園から15園に拡大。病児病後児保育も受け入れ人数の拡大を図り、子育て世帯の就労を支援。
- 私立幼稚園等の園児の保護者に対する補助金を月額2,100円から月額3,600円に増額。
- 平成27年4月から学童保育所の入所対象児童が小学校全学年の児童に拡大。国が策定した「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後子ども教室との連携を図り、教育施設を活用した子どもの居場所づくりを充実。
- 特定不妊治療に係る医療費助成の対象を男性不妊にも拡大。

(重要施策2)教育内容等の充実

- 9年間の教育活動を系統的、継続的に行う小中一貫教育を引き続き推進。
- 小学校全校に、担任の授業を支援する学習支援員を配置。中学校には、放課後等の補習教室を全校で実施。
- 学力向上協力校を指定し、担任と協力して授業を行うティームティーチャーを配置。
- 生活指導上の課題に対応するために、学校と家庭、関係機関等をつなぎ児童・生徒を支援するスクールソーシャルワーカーを配置。
- H26年12月策定「特別支援教育推進計画」に基づき特別支援教育推進体制を整備。また、平成28年4月の開設に向けて、第三中学校に通級指導学級の整備を実施。
- 小学校4校、中学校2校の校舎の外壁改修工事。また、新たに校舎内部の壁、天井等の非構造部材の耐震化に向けて調査を実施。

- 校務の効率化のため校務用パソコンのネットワーク・システムを整備。

(重要施策3)(仮称)総合福祉センターの整備

- 事業実施者と調整を図り、平成28年4月の開設に向け、施設整備及び施設運営を準備。

(重要施策4)新学校給食センターの建設

- 既存施設が抱える設備の老朽化や衛生管理、アレルギー対応、個々食器の導入などの諸課題に対応するため、「学校給食基本計画」に基づき、平成29年4月の開設に向け、建設工事を実施。

(重要施策5)廃棄物の減量

- H26年度に家庭廃棄物の有料化及び戸別収集を導入し、可燃ごみをはじめとする廃棄物の減量に効果が得られたので、引き続き、市民の皆様や事業者の皆様にご理解とご協力をいただき、廃棄物の発生・排出抑制等の減量に取り組む。

(重要施策6)健康づくり施策の充実

- H27年3月に策定する「健康増進計画」に基づき、健康寿命の延伸等を目指した施策を推進。
- 東大和市歯科医師会との連携を図り、祝日等歯科応急診療事業を開始。
- 東大和病院及び東大和市医師会のご協力をいただき、平日準夜帯における小児初期救急診療を段階的に実施。

(重要施策6)公園の整備

- 設置から30年以上が経過する公園が増加。遊具等の更新を行うにあたり、市民の皆様からご意見をいただきながら、地域の憩いの場として、親しみがわく特色のある公園整備の方針を定める。

…さて、来年度は「子ども・子育て支援新制度」のスタート、介護保険制度の変更、「生活困窮者自立支援法」の施行など、国の施策に対応し新たに取り組むべきことも多くあります。さらに東大和市独自の事業としては、市役所本庁舎等の耐震補強工事、新学校給食センター建設、(仮称)総合福祉センターの建設など大きな事業もあります。これら市独自の事業に対し施政方針表明では「財政の健全性が高まってきているものの、今後予定している本庁舎等の耐震補強工事や新学校給食センターの建設などは、建設費用の高騰のため、より多額の経費が見込まれている。また、少子高齢化に伴い社会保障に関する経費は年々増加しており、さらに、子育て支援の一層の充実等を図っていく必要があることから、今後も厳しい財政運営は続いていくものと考えております。」と述べられていました。(裏面に続く)



…来年度の重要施策7つのほとんどは「待ったなし」のもので、建設費が高騰している中で大型建設事業を実施することに関しては、市民が納得できる内容で進めることが重要です。施政方針表明の中の予算編成方針では「開かれた市政の実現のため、情報公開と説明責任の徹底を図り、市民の理解と信頼を得る」「持続可能な市政の実現のため、社会情勢を見通す中、取り組むべき課題に集中して対応する」「第4次行政改革大綱に基づき、効率的かつ効果的な事務事業の実施に努める」という3つの方針が述べられました。今後も、上記、大型建設事業についてはこれらの予算編成方針が維持して実施しているかを、確認していくことが必要だと思いました。

■施政方針表明に対する代表質問

…市長施政方針表明に対し、議会では代表質問が行えます。代表質問には時間制限が設けられ、各会派の所属人数×10分が上限。無所属議員は各自10分となっており、その時間内でしか質問と答弁はできません。また、定例会ごとに行う一般質問の場合は、答弁に対する再質問ができますが、代表質問は、まとめて質問、それに対する答弁も1回でその答弁に対して更に質問をすることはできません。

…今回の平成27年度施政方針表明に対しては、全会派、全無所属議員が質問を実施。各会派、質問内容は多岐に及んでいましたが、複数の会派では、尾崎市政4年間の総括、実績についての質問を盛り込んでいました。…私も施政方針表明に対する質問を実施。10分という限られた時間ですので、他の会派と重複しないような内容と思われるものを吟味して質問をさせていただきました。その内容と答弁は以下の通りです。

①重要施策では、学習支援員の配置、学力向上協力校へのティームティーチャーの配置や施設整備などの施策が述べられていた。また、主な施策の「豊かな人間性と文化を育くむまちづくり」の学校教育の充実の中では「重要施策で説明した教育内容等の充実」と述べられていたが、重要施策で述べられていたのは、教育環境の充実であると考え。教育内容の充実というのは、例えば新たなカリキュラムの導入やオリンピックを見据えた新たな取り組みなどのことを指すのではないのか。教育内容の充実とはどのようなことだと考えているのか。

⇒教育委員会では、学校教育振興基本計画に基づき、教育内容の充実を図っている。学習支援員やティームティーチャーの配置、放課後等補習教室の実施も教育内容の

充実を図る有効な施策だと考えている。また、現在取り組んでいる小中一貫教育も教育内容の充実を図るためには重要であり、H27年度には成果を発表する。さらに、教育内容の充実を図るためには、教員の資質・能力の向上が必要。教員研修の改善・工夫を通して、より分かる授業を実施する。

②観光事業の推進については関連事業との連携が欠かせないと考える。

A: 観光ボランティアの活動実績と来年度の新たな取り組み「(仮称)ここがふるさと・東大和市の魅力発見・発信し隊」との連携はあるのか。

⇒観光ボランティアは多摩国体の時に市内循環バスに同乗し観光ガイドとして活躍いただいた。また、当市の魅力を再発見し、市内外に発信していくグループとの連携は重要だ。

B: 郷土博物館のプラネタリウムや農産物のPRをする直売所マップと観光マップは連携させるのか。

⇒最新版の観光マップでは連携させた。幅広い情報の掲載を検討したい。

③重要施策では廃棄物の減量について「皆様のご理解とご協力」とし、主な施策の「廃棄物の減量とリサイクルの推進」では「市民と協働で取り組む」とした。「協働」と「協力」の違いを市ではどのように捉えているのか。

⇒「協力」はあくまでも協力する市民の皆様などが主体となり、それぞれの出来る範囲で実施いただくもの。「協働」は共通の目標、目的に向かって同じ立場で達成に向けて協力しながら、対等のパートナーとして単独では解決できない課題等に取り組んでいくことだと考えている。

④組織はトッパによって変わる。施政方針表明の最後では市役所について触れられていた。尾崎市長になったことで組織的に変化したこと、組織力、職員の能力、仕事内容、市民への対応等で、どのような向上、改善があったと考えるか。

⇒事業の実施では関係部課で情報共有や相互連携を図ることを意識させており、協調性が向上した。職員採用は人物重視の採用に切り替えた。人材育成プランを策定し、短期ジョブローテーション導入、キャリア意識の醸成に組み込み、職員の意識や能力の向上に努めた。また、「あいさつ運動」を実施し、接遇能力が向上した。

…来年度は大型事業や新制度等もある重要な1年。施政方針表明で示された様々な施策はレベル高く遂行していただき、市民への情報開示、説明責任を果たしながら進めていって欲しいと思います。そして、その取り組みにより市民が「より良くなった東大和」を実感できるようにしていただきたいとも思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102